

**北陸学院高等学校 1 年生、北陸 3 県で唯一の全国表彰**  
**“開発途上国で、生き生きと授業を受ける子供たちのために今出来ることを”**  
**JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2021**  
**3 月 28 日 10 時より 同校にて賞状授与**

独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施した「JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2021」の審査結果が発表となり、北陸学院高等学校 1 年生の津幡 高裕（つばた たかひろ）さんが北陸 3 県の高校生で唯一の全国入賞となる、【国際協力特別賞】を受賞しました。

本来 JICA 本部（東京都）にて全国表彰授与式が行われる予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により同式の開催が中止となったため、今回その代替として JICA 北陸所長が北陸学院高等学校を訪問し、賞状と副賞を授与する運びとなりました。津幡さんの作品への想いやご活躍を石川県内の多くの方々にご周知していただきたく、貴メディアにより取材・報道を頂けますと幸いです。なお、当日は同校にお越しいただき取材することが出来ます。

1. 受賞内容:

国際協力特別賞 1 年 津幡 高裕さん(作品名:「当たり前」の格差)

2. 表彰日: 3 月 28 日(月)10 時 00 分~10:30(場所:北陸学院高等学校)

※コロナ等の影響により、表彰時間の変更・中止の場合は、申込みのあったメディアの方にご連絡いたしますので、事前に JICA 北陸担当者までご連絡ください。

■【国際協力特別賞】受賞作品のご紹介

**「当たり前」の格差 北陸学院高等学校 1 年生 津幡 高裕**

日本での当たり前は、カンボジアにとっては当たり前ではないと自身の経験から語り出す作者。世界は SDGs 達成へと進んでいるが、若い世代こそが理解を深め、行動すべきであると問題提起する。現状に目を向け、今、起こす小さな行動が地球と共存するために大切であると主張する。買い物でフェアトレードマークのついた商品を選択するなど、日常生活からできることをやっつけていこうと思わせてくれる作品。

国際協力機構では、次の世代を担う中学生・高校生を対象に、開発途上国の現状や開発途上国と日本との関係について理解を深め、国際社会の中で日本、そして自分たち一人ひとりがどのように行動すべきかを考えることを目的とした「JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト」を毎年実施しています。

本コンテストは、今年度で中学生の部は 26 回、高校生の部は 60 回を数え、中学生の部 23,170 点、高校生の部 25,215 点、総数 48,385 点ものご応募をいただきました。

【本件に関する問い合わせ先】

●エッセイコンテストについて

(独) 国際協力機構北陸センター (JICA 北陸) 甲斐・山崎  
 TEL 076-233-5931  
 E-mail: Kai.Shoko@jica.go.jp

●当日の取材について

北陸学院高等学校  
 TEL: 076-262-3012  
 2022年3月28日(月)10時